

# Information

イベント情報

これから開催するイベント一覧です。

詳細やお申し込み方法は、サポートオフィスHP内の「イベント」ページをご確認ください。



3月

3/5(木)  
10:00~17:00

## まちカフェ!オープンデー

町田市庁舎2階 市民協働おうえんルーム(予定)

●「まちカフェ! 365日」が言葉!気軽に地域活動についての相談やふらっと交流ができる場として、原則毎月第一木曜日に町田市庁舎に終日サポートオフィススタッフが出張しています。団体の定例ミーティング、サポートオフィスへの相談の機会にご活用ください。



▲のぼり旗が目印です

### ● 特別企画(10:00 ~ 11:00)

大学生ボランティア卒業論文発表~町田市ユニカル協会での活動を通して

学生おうえん隊として活動していた大学4年生による発表。「ユニバーサルスポーツが地域に与える影響と価値」などお話しいただく予定です。どなたでもご参加ください!

詳細・お申し込みはこちら



## Pickup Event

聴ける?子どもの声  
届いて?わたしの声

## 子どもと共にありたい 大人の学び場vol.2

~子どもにやさしいまちの実現に向けて~

子どもにやさしいまちの実現に向け、地域連携の可能性を共に学び創りましょう

松田 妙子氏

(NPO法人せたがや子育てネット代表理事)

講師紹介

1999年、自身の子育て中に赤ちゃんサロンを開催したのをきっかけに、2004年にNPO法人「せたがや子育てネット」を設立。以後世田谷区を中心に子育て支援活動を行い、その活動は全国に及び、現在は、子育てひろばの全国組織「NPO法人子育てひろば全国連絡協議会」の理事も務める。

こんな方のお越しをおましています

- ✓ 市内で子どもに関する活動やお仕事をされている方
- ✓ 子どもと地域との関わりに関心のある方
- ✓ 子どもの声を聴くことに関心のある方
- ✓ 子どもにやさしいまちについて学びたい方

参加申込フォームはこちら



# まちだづくりのコミュニケーション誌 サポートオフィス 通信

一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス 発行

2026 FEB vol.65

公式LINE  
始めました



友だち登録で  
最新情報配信中!



▲第19回町田市市民協働フェスティバルまちカフェ!の様子(写真協力:nappy(\*1)、StudioA(\*2))

## Now | 開催報告 |

## まちカフェ!アワード表彰式&交流会開催しました

事務局として6回目を迎えたまちカフェ!。今年は実行委員会の運営を工夫し、参加団体の方に会議進行に加わっていただくなど新しい風が吹きました。また、今年は自主的なプロジェクトが立ち上がり、相互支援や新たな協働関係が数多く生まれました。まちカフェ!で生まれたご縁が、その後の活動につながったという嬉しい報告も届いており、「まちカフェ! 365日」を実現しています。1/16(金)にはまちカフェ!アワード表彰式&交流会を開催。乾杯してお互いに感謝を贈り合い、次回の第20回開催に向けてのアイデアだして盛り上がりしました。

GoFor20th! 次回は第20回の  
記念すべきまちカフェ!



▲和やかなまちカフェ!アワード表彰式&交流会の様子。乾杯してお互いに感謝を贈り合いました。

### 第19回まちカフェ!トピックス

今回のまちカフェ!では、挑戦と協働を楽しみながら、世代や立場を超えた新しい活動の芽が数多く生まれました。

#### topics 01 インクルーシブなステージ

実行委員会の提案で文字起こしシステムを導入。ステージ音声を即時文字化し、聞こえにくい方にも内容が伝わるようにしました。

#### topics 02 #町田のまちカフェ

実行委員会の提案でSNSに「#町田のまちカフェ」を付け、全体会議で100名超が一斉投稿。まちカフェ!を広く発信しました。

#### topics 03 団体PR動画

実行委員会全体会議で各団体のPR動画を撮影し、字幕付きで市内各所のデジタルサイネージで流しました。

#### topics 04 学生が大活躍

大学生・高校生の出席が10団体に拡大。当日は大学生がstand.fmリポーターとして学生ブースを紹介して交流を深めました。

#### topics 05 多世代のボランティアも大活躍

10代~80代まで44名がボランティア(おうえん隊)として参加。受付・案内・撮影・設営などで活躍しました。

### データで見るまちカフェ!

前回は上回る団体数と来場者数となり、活気にあふれたイベントとなりました。

参加団体 192団体

来場者数 9,937名

※第19回町田市市民協働フェスティバル  
まちカフェ! 期間累計

まちカフェ!の  
詳細や最新情報は  
こちらから



## サポートオフィススタッフ Note No.8



池優里花

趣味は、お笑い、卓球、漫画、将棋...最近をよくYouTubeを見ています。

## 「卒業」

大学生活はあっという間で、4月から社会人になる現実に驚いていますが、振り返ると充実した4年間だったと感じています。趣味に没頭したり、推し活をしたり、ボランティアをしたり、卒論を書いたり...ボランティアでは、素敵な方々と出会えました。2年前のまちカフェ!で学生おうえん隊として活動をしたときは、初めてのボランティアだったので、とても緊張したことを覚えています。ドキドキしながら活動が始まったのですが、団体の方が本当に優しく、たくさん褒めてくださって、とても楽しく活動できました。そして学生おうえん隊をきっかけに、サポートオフィスでアルバイトをすることになり、活動を通してさらにたくさんの方との素敵な出会いがありました。4年間の思い出を胸に、私も素敵な社会人になれるように頑張りたいです。



▲推しのライブへ  
行きました

町田市地域活動サポートオフィスでは、地域活動に関する悩みや相談を受け付けています。電話やメール、または直接来所して相談することができます。



MAIL info@machida-support.or.jp

TEL 042-785-4871

月~金 午前9時から午後6時(毎月第三水曜日は午後5時まで)

〒194-0013 東京都町田市原町田4丁目9-8 町田市市民フォーラム4階

最新情報はHPや各種SNSでも発信しております。



友だち登録募集中

https://machida-support.or.jp





# \ 寄付募集のはじめ方！ / 活動を支える応援を集めるコツ

## その前に...いくら必要？ 活動資金

寄付募集を検討する上で、まずは必要な活動資金と財源の種類について理解してみましょう。財源には【会費、寄付、事業収入、補助金・助成金、委託、融資】などがあり、それぞれメリットデメリットがあります。まずは、団体の活動をする上でいくらの活動資金が必要なのかを明確にすることが出発点です。



サポートオフィスで  
資金相談も可能です！

## 寄付は「お金」だけでなく 「応援」や「仲間」を集める仕組み

寄付は単に「資金を集める手段」だけではありません。活動に共感した人が「応援したい」「関わりたい」と意思表示する方法のひとつです。寄付募集を通じて、下記の効果が期待できます。



\ サポートオフィスも挑戦！ /

## スタッフ 手作り おみくじ



サポートオフィスでは、寄付を原資として町田市内の新しいチャレンジを応援する「まちだづくり応援基金」助成を実施しています。大口の寄付をしてくださる方の支えで継続できていますが、より多くの人にチャレンジの応援団になっていただき、少額でも気軽に&楽しく寄付できるアイデアとして、「地域活動名言おみくじ」を作成しました。町田で地域活動に取り組む方々の名言とスタッフの解説コメント、関連アイテムを記しています。現在、約41名もの協力が集まりました。おうえん基金の認知向上や、コミュニケーションのきっかけにもなっています。

「まちだづくり応援基金」は、  
オンラインでも寄付を  
受け付けています

Syncable  
サイト▶



## Real Voice

## 寄付活動の事例紹介

### 事例 01

## レモネードスタンド MICO LEMONADE 佐々木清香さん

レモネードの販売を通じ、10歳で他界した娘の美琴さんが闘った小児がんやその家族の現状を伝え、売上の一部を小児がんの研究グループ等に寄付する活動を行っています。



### ◆共感・共鳴が応援へつながる

活動についてはInstagramでの発信を大切にしています。自分の想いを誠実に言葉にすることで、そこに共感してくださった方が「手伝いたい」と仲間になってくれています。また、レモネード販売時には、小児がんについてのパネルを掲示しています。リアリティのあるエピソードを伝えることは勇気が必要でしたが、活動への想いや背景を知ってもらうことで、同じような境遇の方や応援したいと思っていただける方に出会えています。

### ◆信頼を大切にする

寄付先を選ぶ際には、ネット検索など表面的な情報だけで判断せず、自分の足で訪ね、直接話を聞いたうえで「ここなら」と思えるところに決めています。寄付をす

るということは、寄付先を公に明示することで、寄付先に対しても責任を持つことだと思っています。寄付金額や使い道は丁寧に公開し、経費も含めて1円単位まで正確に管理しています。透明性を保つことが、寄付をいただいている責任だと思い、気を張っています。まちカフェ!での売り上げは、JCCG日本小児がん研究グループ及び娘がお世話になっていた国立成育医療研究センターに寄付しました。

### ◆自分の楽しいやり方で

一人で運営しているからこそ、判断も行動も早く、自分に合ったペースで続けられています。レモネードの素材にも妥協せず、信頼できるレモン農家を自ら探し、関係性を築いていくことが楽しいです。せっかくやるなら、楽しく、胸を張れる形で。一杯のレモネード

に物語を込めて一人ひとりの手に届けることが私自身の喜びであり、無理なく寄付募集を続ける力になっています。



▲まちカフェ! 出店時のようす



小児がん支援  
レモネードスタンド活動  
MICO LEMONADE  
@mico\_lemonade



## さまざまな寄付の方法

団体の活動内容や規模に合ったものを選んで挑戦することができます。

### 単発寄付

イベントや講座等に参加した際などに応援を呼びかける寄付です。使い道を一言で伝えることで、気持ちよく協力してもらえます。

### クラウドファンディング

特定のプロジェクトのために、資金を集める寄付です。お礼(リターン)で、より活動への関心が高められる効果もあります。

### 寄付付き商品・サービス

商品やサービス代の一部が自然に寄付となる仕組みです。寄付額や使い道(活動のストーリー)を伝え、応援の実感が高まります。

### 継続寄付(月100円、500円など)

少額・月額で無理なく続けられる寄付の形です。小さな支援が積み重なり、活動の安定とつながりを育てます。

### 物品寄付(活動に必要な物)

お金ではなく、活動に必要な物を寄付する方法です。写真付きで示すAmazonほしいものリストをシェアするなどで協力を得やすくなります。

### 募金箱の設置

気づいたときにできる、身近な寄付の入り口です。金額の目安や活動の写真などがあると良いです。募金箱の設置をするという応援方法も。

### 事例 02

## 夢チケット こども食堂せかい 金子せいかさん

こども食堂せかいでは、寄付として購入された「夢チケット」を使って、併設する飲食店すーぶやSEKAIで子どもたちに無料で食事を提供しています。



▲夢チケット



### ◆わかりやすい寄付の形

夢チケットは「1枚600円=子ども1食分」で寄付の使われ方が一目わかります。チケットに寄付した方のお名前を書いていただき、店内に掲示します。子ども食堂として利用したい子どもはそのチケットにメッセージを書いて食事をします。寄付の約80%はお店で顔を見て購入する地域の方です。来店された方が店内に掲示されているチケットを見て関心を持って下さることも。毎年約2000枚の夢チケットの寄付が集まっています。

### ◆無理のない運営が続くコツ

子ども食堂をお店の営業時間内に開催し、同じメニューを提供することで無理なく運営できるよう工夫しています。チケットの目標枚数もありますが、「もし、

チケットがなくなったら、それはそれで仕方ない」くらいの気持ちで、結果的に継続につながっています。

### ◆お願いすると、応えてくれる人がいる

お店をはじめた時に地域約50カ所へチラシを持って直接あいさつ回りをしながら寄付のお願いをしたところ約40万円が集まりました。寄付しない理由の一位は、「お願いされたことがないから」と聞きました。が、この言葉の通り、きちんと伝えることが大切だと実感しています。Instagramに「Amazonほしいものリスト」も掲載しています。こちらも毎月2〜3件の支援があり助かっています。

### ◆応援され続ける関係づくり

寄付してくださった方へはお礼の気持ちをInstagram

の投稿で伝えていきます。夢チケットを購入していただいた際にはメンション(寄付者のSNSユーザー名をつけて投稿することで多くの人に寄付したことが伝わる)をしてよいか、お名前を出して良いかを確認しています。企業には夢チケットに社名を載せ、広告のような形で支援してもらえるようなアプローチをしています。夢チケットを通して支援する人と利用する人を分けて、「地域みんな子育てする」循環を大切にしていきたいです。



こども食堂せかい  
@seikai\_2022



すーぶやSEKAI  
@soupyasekai

